

令和5年度事業概要

I 文学資料の収集・整理・保存及び閲覧事業

購入資料受入れ総数（図書・雑誌及び特別資料等）	911点
寄贈資料受入れ総数（同上）	2,749点
計	3,660点
整理・保存 閲覧	収蔵資料のコンピュータ入力並びに寄贈目録の作成等 利用者 延 2,663人

II 展覧会事業

(1) 展覧会開催事業

事業名	実施時期 (日数)	観客数 (人)	展覧会の概要
常設展 北海道の文学	通年 (310日間)	5,163	北海道の文学を時系列に従いつつジャンル別に構成し、解説している。ビジュアルな展示スタイルに主眼を置き、直筆原稿・遺品・初版本・書簡・写真などの貴重な資料約1,350点を紹介。 (◎展示構成を次頁に掲載。)
ファミリー文学館 ネコ！ねこ！猫！！ II	4/15(土) ～ 6/11(日) (50日間)	4,595	本展は2015年度に開催し大変好評だった。今年度は新たな作品を加え、小説・詩・短歌・俳句・川柳・絵本・童話の中から描かれている猫を紹介。よりパワーアップしてPart2を開催し、親子で絵本を楽しめるコーナーも設け子供から年輩の人まで楽しめる内容で展示。
特別展 小津安二郎 世界が愛した映像詩人	6/24(土) ～ 8/20(日) (50日間)	2,151	2023年は、小津安二郎の生誕120年であり没後60年。映画のオールタイムベストテンでもっとも権威があるとされる英国映画協会の「Sight&Sound」誌が10年に一度選出するベストテンで2012年に『東京物語』が第1位となるなど、世界的に注目され続ける映画監督であり、小津の世界に魅せられた北海道関係の研究者の研究などを交え、さまざまな角度から小津映画の魅力に迫った。
特別展 『スーホの白い馬』の 画家 赤羽末吉	9/9(土) ～ 11/7(火) (52日間)	3,747	絵本『スーホの白い馬』は、馬頭琴の由来を雄大なモンゴルの風景のうちに表現して、出版から55年余を経てなお、日本中の子どもたちに読み継がれている。赤羽末吉はこの絵本を始め、日本、そしてモンゴルや中国の少数民族の民話に取材し、80年の生涯で80冊もの絵本を発表した。赤羽末吉の画業を紹介しつつ、独特の「雪」の表現や、アイヌの民話に取材した「けちんぼおおかみ」についても注目した。
特別展 左川ちか 黒衣の明星	11/18(土) ～ 1/21(日) (51日間)	1,636	北海道余市生まれの詩人・左川ちかは、小樽の高等女学校を卒業後、上京し、兄の友人で同郷の伊藤整らとともに、新しい詩の形を求めて翻訳や詩作を開始した。故郷の景色を詩想として培いながら、J.ジョイスやV.ウルフなどの翻訳も時代に先駆けて行い、優れた言語感覚と独自の美学によって当時のモダニズム詩壇の最前衛に立った。本展では、近年、再評価の機運が高まる左川ちかの短くも鮮烈な生涯とその詩の世界を、北海道の風土と芸芸、モダニズム詩壇の興隆、翻訳の時代、現代における再生といった視点で探った。
特別展 100年の時を超える <明治・大正期刊行本> 探訪	2/3(土) ～ 3/24(日) (44日間)	1,291	当館では、明治・大正期に刊行された書籍を数多く所蔵しており、それらの中には、現在では貴重な初版本もある。また色鮮やかでモダンな装幀の本であったり、さらに当時の社会情勢が反映された内容だったり、時代の息吹を感じさせるものばかりである。 2026年、大正が幕を閉じて100年を迎える。それに先立ち本展では、有島武郎、石川啄木、萩原朔太郎、三木露風、宮沢賢治、室生犀星、与謝野晶子など、道内外の明治・大正の著名作家の作品をピックアップし、刊行からおよそ100年の歴史をもつ所蔵本を一堂で紹介した。

【常設展アーカイブ】

- ・第1期展示 [4月11日(火)～6月25日(日)]
川上澄生の世界
南蛮、文明開化や北海道を題材とした懐古的詩情あふれる世界を紹介
- ・第2期展示 [7月11日(火)～10月1日(日)]
川柳・斎藤大雄の宇宙
斎藤大雄が描き、遺した川柳の世界を紹介
- ・第3期展示 [10月17日(火)～12月28日(木)]
文学館コレクション 新収蔵品から
近年に収集した北海道文学などの資料の中から厳選して紹介
- ・第4期展示 [1月16日(火)～3月24日(日)]
来道歌人の詠んだ北海道
晶子、茂吉、牧水らが北海道で読んだ短歌を自筆資料を交え紹介
- ・スペシャル [3月28日(木)～4月6日(土)]
「H子」受贈記念 加清純子作品公開
油彩「H子」受贈を記念して、既収蔵作品と合わせ15点を展示

(2) 常設展の展示構成

〈北海道の文学、その歴史〉〔神谷忠孝・平原一良ほか〕

◆20世紀への胎動 久保栄「五稜郭血書全5幕」原稿、北方謙三「林蔵の貌」原稿、高倉新一郎『覆刻札幌農学校』 ◆助走期の苦闘 有島武郎・木田金次郎宛書簡、武者小路実篤「武郎さんと僕」原稿、雑誌「白樺」 ◆漂泊と彷徨 国木田独歩「欺かざるの記」原稿、幸田露伴「二日物語 此一日」原稿、石川啄木「雲は天才である」原稿 ◆道産子作家の誕生 武林無想庵「アルバム」原稿、森田たま「きもの博士」原稿、中戸川吉二・久米艶子宛書簡 ◆逆流のさなかで 小林多喜二「故里の顔」原稿、久保栄「火山灰地」原稿、本庄陸男「逆流」原稿 ◆モダニズムの台頭 伊藤整「文化的青春伝」原稿、中村武羅夫色紙、岡田三郎「かぼちゃ談義」原稿 ◆戦火の中で 辻村もと子「馬追原野」原稿、石塚喜久三『花の海』、坂本直行カット原画 ◆復興と再生 畔柳二美「こぶしの花の咲くころ」原稿、風巻景次郎「札幌地理学」原稿、船山馨遺品 ◆成長期の精華 雑誌「北海文学」(原田康子「挽歌」掲載)、和田芳恵「五十年ぶりの帰郷」原稿、李恢成色紙、三浦綾子短冊(三浦光世筆)、高橋揆一郎『「仲子」覚え書き』原稿 ◆変転する現代 渡辺淳一「リラ冷えの街」原稿、北海道ゆかりの芥川賞・直木賞受賞作家と作品 ◆文学マップ「小説の中の北海道」

〈アイヌ民族の文学〉〔青柳文吉〕

知里幸恵、金成マツ、金田一京助、知里真志保、バチェラー八重子、森竹竹市、萱野茂、違星北斗、鳩沢佐美夫、杉村キナラブック、砂沢クラ、山本多助、葛野辰次郎、宇梶静江、北原モコットウナシ、小笠原小夜

〈千島・樺太の文学〉〔木原直彦〕

夏堀正元「北の墓標」原稿、吉村昭「北天の星」原稿、李恢成『サハリンへの旅』、寒川光太郎「(オロッコ族)」原稿

〈北海道の詩〉〔原子修〕

◆「現代の詩」の創造に挑んだ〈風の詩人〉たち 吉田一穂「魚歌」扁額、小熊秀雄「裸婦」原画 ◆「現代の詩」を北の大地に根づかせた〈土の詩人〉たち 更科源蔵「河童十二ヶ月」原稿、和田徹三「命」原稿、河邨文一郎「オホーツク」原稿 ◆「現代の詩」の新しい可能性を求めて 原子修色紙

〈北海道の短歌〉〔内田弘〕

◆北海道歌壇の動き 小田観螢、並木凡平、酒井広治、山下秀之助、伊東音次郎 ◆北海道歌人会 その

主な活動 ◆歌人達の揮毫 野原水嶺、芥子澤新之介、小田観螢、宮西頼母、川村濤人、樋口賢治 ◆北海道を詠む 石川啄木、太田水穂、若山牧水、土屋文明、与謝野寛、与謝野晶子、斎藤茂吉、佐藤佐太郎、橋本徳寿、宮柊二、太田青丘、齋藤史、清原日出夫

〈北海道の俳句〉〔木村敏男〕

◆北方俳句の夜明け 松窓乙二、河東碧梧桐、牛島藤六、高浜虚子、長谷川零餘子、臼田亜浪、石田雨圃子、青木郭公ほか ◆俳句近代化への潮流 荻原井泉水、泉天郎、長谷部虎杖子、唐笠何蝶、細谷源二、土岐鍊太郎、伊藤凍魚、水野波陣洞ほか ◆花ひらく北の俳句 齋藤玄、寺田京子、比良暮雪、佐々木丁冬ほか ◆俳句の現代 鮫島交魚子、園田夢蒼花、山岸巨狼ほか

〈北海道の川柳〉〔斎藤大雄〕

◆明治より昭和（前期）まで 鈴木青柳、北村白眼子、亀井花童子、神尾三休、三輪破魔杖、井上剣花坊、鶴彬、西島〇丸、田中五呂八ほか ◆昭和20年代より平成7年まで 西村欣童、高木夢二郎、森田一二、甲野狂水、古田八白子 ◆現在の活動状況 道央、道南、道東、道北の各結社の活動と結社誌等を紹介

〈北海道の児童文学〉〔柴村紀代〕

◆明治～昭和20年代 伊東音次郎、支部沈黙、坪松一郎ほか ◆昭和30年代 石森延男、神沢利子、安藤美紀夫、渡辺ひろし、玉川雄介ほか ◆昭和40年代以降 加藤多一、後藤竜二、長野京子ほか

III 教育普及事業

注：「事業項目」の無印は道負担金事業。※印は財団企画事業。

事業項目	事業名	実施時期（日数）	目標観覧（参加）者数（人）	観覧（参加）者実績数（人）	観覧（参加）率	備考
ファミリー文学館（朗読会等）	朗読会「猫の時間」 朗読：澤井貴良子（朗読講師）、田村英一（ナレーター）、安藤千鶴子（音声表現講師）	4月30日（日） 5月14日（日） 5月28日（日）	60	92	153.3%	「ファミリー文学館」展 関連事業
〃	“猫”川柳句会 講師：岡崎守（北海道川柳連盟顧問）	5月3日（水・祝）	10	9	90.0%	〃
〃	絵本の読み聞かせ「ネコと遊ぼう！」 講師：読み聞かせボランティア「トムテ」、当館職員	5月21日（日）	10	12	120.0%	〃
〃	大人のためのワークショップ「猫・豆本をつくろう！」 講師：山田白百合（イラストレーター、手作り絵本講師）	5月27日（土）	10	12	120.0%	〃
〃	子どものためのワークショップ 「ネコのうちわをつくろう！」 講師：当館職員	6月11日（日） 午前・午後	10	20	200.0%	〃
講演会・セミナー・講話等	講演会「小津安二郎と北海道」 講師：中澤千磨夫（財団副理事長）	7月1日（土）	50	42	84.0%	「小津安二郎」展 関連事業
〃	無声映画鑑賞会「突貫小僧」「出来ごころ」 出演：澤登翠（活動写真弁士）	7月8日（土）	200	173	86.5%	〃
〃	映画会「東京物語」（兼第1回映像作品鑑賞会）	6月25日（日）				〃 目標値、観覧者数は映像作品鑑賞会に計上
〃	映画会「東京暮色」	7月23日（日）	50	49	98.0%	〃
〃	映画会「秋刀魚の味」	7月29日（土）	50	47	94.0%	〃
〃	対談「今日も今日とて、小津日和」 対談：築山秀夫（小津資料収集家）、中澤千磨夫	8月5日（土）	50	42	84.0%	〃
〃	オープニング・セレモニー	9月9日（土）	20	15	75.0%	「赤羽末吉」展 関連事業
〃	講演会「スーホの草原にける虹 －赤羽末吉の人生と絵本－」 講師：赤羽茂乃（赤羽末吉研究者）	9月9日（土）	50	51	102.0%	他にオンライン 申込120名
〃	読み聞かせ&ワークショップ 「「おへそがえる・ごん」と遊ぼう」 講師：当館学芸員	9月17日（日） 午前・午後	20	22	110.0%	〃
〃	ギャラリーツアー 解説：当館学芸員	9月30日（土） 10月14日（土） 10月28日（土）	50	32	64.0%	〃
〃	講演会「モンゴルの風」 講演：松田ヒシグスレン（詩人、小説家）	10月7日（土）	50	35	70.0%	〃
〃	馬頭琴と朗読の会 出演：嵯峨治彦（馬頭琴奏者）、嵯峨孝子（朗読者）	10月22日（日）	50	62	124.0%	〃
〃	講演会「子どもの中に残る絵本の世界」 講師：藤田春義（児童文学者、大学講師）	11月4日（土）	50	48	96.0%	〃

事業項目	事業名	実施時期(日数)	目標観覧(参加)者数(人)	観覧(参加)者実績数(人)	観覧(参加)率	備考
講演会・セミナー・講話等	講演会「入門左川ちかーその<モダニズム>の実相」 講師：高橋秀明(詩人、財団理事)	11月12日(日)	50	42	84.0%	「左川ちか」展 関連事業
〃	ポエトリー・リーディング「左川ちかの詩を読む」 朗読：柴田望、二条千河(詩人)他、演奏：SAYO	11月23日(木・祝)	50	50	100.0%	〃
〃	講演「左川ちかと同時代の女性詩人について」 対談「左川ちかの現代性」 講師：川村湊(評論家)、対談：川村湊、島田龍(研究者)	11月26日(日)	50	53	106.0%	〃
〃	映像上映会「外人部隊」	11月29日(水) 12月20日(水) 1月7日(日)	60	67	111.7%	〃
〃	講演会「左川ちかと同時代の美術について」 講師：若名直子(当館副館長)	1月14日(日)	50	39	78.0%	〃
〃	ミニ解説&朗読会 解説：当館学芸員、朗読：公募朗読者	8回開催 2/17,2/21,2/28,3/2, 3/6,3/13,3/16,3/20	160	248	155.0%	「100年の時を超える」展 関連事業
〃	コンサート「歌声とともに」 出演：安達彩子(ボーカル)、森希美(ピアノ演奏)	3月3日(日)	50	48	96.0%	〃
夏休み文学道場	「夏休み文学道場」(動画配信、対面・オンライン開催)	7月21日(金)~8月24日(木)、 8月9日(水)	30	22	73.3%	
小・中・高生短歌コンテスト	小・中・高生を対象に作品を募集し、優秀作品を表彰(募集)	7月1日(土)~9月12日(火)	4,300	5,356	124.6%	
〃	小・中・高生短歌コンテスト表彰式	12月17日(日)		75	41.7%	
〃	小・中・高生短歌コンテスト作品展示	12月9日(土)~1月14日(日)		523		
わくわくこどもランド	紙芝居、読み聞かせ、工作教室などに親子で参加	16回開催 5/5,6/4,7/2,7/30,8/2-3, 8/6,9/3,10/1,11/5,12/3, 12/10,12/24,1/8,2/4,3/3	450	305	67.8%	5/5は2回実施
映像作品鑑賞会	「東京物語」	6月25日(日)	60	45	75.0%	
映像作品鑑賞会	「青春の海」	8月27日(日)	60	36	60.0%	
映像作品鑑賞会	「乳房よ永遠なれ」	11月19日(日)	60	44	73.3%	
映像作品鑑賞会	「燃えよ剣」	2月18日(日)	60	42	70.0%	
市町村連携事業「文学館出前講座」	市町村、学校、文化団体等との共催で講演会等を開催	23市町村26会場	1,200	1,437	119.8%	
市町村連携事業「ミニ巡回展」	市町村、学校、文化団体等との共催で講演会等を開催	3市町村3会場	3,000	2,771	92.4%	
文字・活字文化の振興事業	講演会「ルーマニア・マラムレシュ-中世の化石-」 講師：みやこうせい(フォト、エッセイ、ルポ作家)	10月29日(日)	60	37	61.7%	
文字・活字文化の振興事業	写真展示「マラムレシュ-世界の中心」 写真：みやこうせい	10月29日(日) ~11月7日(火)		583		
古典の日記念朗読会	古典の日にちなみ、古典文学作品を朗読 「堤中納言日記」より「虫好きの御姫様」 朗読：安藤千鶴子(音声表現講師)、琴演奏：手塚早苗	11月3日(金・祝)	60	50	83.3%	
月例朗読会	朗読：ドラマチックリーディンググループ蔵ほか	10回開催 5/11,6/8,7/13,8/10,9/14, 10/12,11/9,12/14,2/8,3/14	500	377	75.4%	
文化施設連携事業	「カルチャーナイト2023」 展示室の夜間開館、朗読会、ミニコンサート、 古書バザール等を実施	7月21日(金)	200	185	92.5%	
文学資料の利用	閲覧室での研究、調査、読書等	通年(310日間)	4,200	2,663	63.4%	
文学愛好団体の活動	文学愛好団体が講堂利用(貸館)	通年(310日間)		511		
負担金事業計			15,500	16,372	105.6%	
※ 文学館カレッジ	・宮沢賢治を深く読むⅡ、俳句・川柳の世界、絵本を学ぶ-SDGsから絵本を見る、続・永井荷風の日記を読む、生涯読書会の5講座	6~3月	500	249	49.8%	
※ ロビーコンサート	チェロコンサート 演奏：西村新一 クラシックギターコンサート 演奏：デュオ・フェルマータ、鉢呂勝徳、鹿野誠一、佐々木みことほか	11月1日(水)、 3日(金)、5日(日)	100	102	102.0%	
※ 中島公園ぶんがく緑日	有島武郎没後100年記念講演会・シンポジウム、 講演会「文学の未来と未来への適応」、絵本交換会	10月8日(日)、 9日(月)	100	413	413.0%	「文学の未来と未来への適応」 他に動画視聴数166回
※ ぶらり文学散歩	身近な土地と文学の関わりを解説	7/4、10/20、10/31	30	23	76.7%	
※ 文学館まつり	トーク、一日限りの資料公開、親手手作りコーナー、 秋の色紙づくり、ミニコンサート、講演会	9月23日(土・祝)	150	156	104.0%	
※ ロビー展示	文学への関心等を促すため収蔵品資料等を展示	4/8~7/5,7/9~9/29, 9/30~11/23,1/21~3/31 全4回		6,699		
※ 小学生向け事業	「文学館たんけんクイズ」	通年(186日間)	100	17	17.0%	
※ 文化公演の活動	コンサート、朗読会の会場に利用	閉館後の夜間	600	25	4.2%	
財団企画事業計			1,580	7,684	486.3%	
	合計		17,080	24,056	140.8%	

IV 北海道文学に関する調査研究事業

- ① ファミリー文学館「ネコ！ねこ！猫！！Ⅱ」関連資料調査
- ② 特別展「小津安二郎～世界が愛した映像詩人～」関連資料調査
- ③ 特別展「『スーホの白い馬』の画家 赤羽末吉」関連資料調査
- ④ 特別展「左川ちか 黒衣の明星」関連資料調査
- ⑤ 特別展「100年の時を超える－＜明治・大正期刊行本＞探訪－」関連資料調査
- ⑥ 特別展の図録作成に要する調査
- ⑦ 次年度の特別展「虚子・年尾と北海道」関連資料調査
- ⑧ 次年度の特別展「絵本作家 降矢なな 原画展」関連資料調査
- ⑨ 次年度の特別展「氷室冴子の世界 ふくれつつらのヒロインたち」関連資料調査
- ⑩ 次年度のファミリー文学館「雪が降る－本の中にも、文字の上にも……」関連資料調査
- ⑪ 次年度の特別展「木原直彦と北海道の文学」関連資料調査

V 文学愛好団体等の活動に対する支援事業

次の団体の事業に対して、後援並びに共催により支援した。

(後援)

- ① 中川町教育委員会
斎藤茂吉記念第29回中川町短歌フェスティバル（令和5年10月8日 中川町）
- ② 特定非営利活動法人 絵本・児童文学研究センター
第27回文化セミナー 越境という名の文化（令和5年11月26日 小樽市）
- ③ 北海道詩人協会
北海道詩人協会2023北の詩祭（令和5年10月29日 札幌市）
- ④ 札幌大学熊谷ユリヤ研究室
ウクライナ支援 朗読とハーブ（令和5年12月17日 札幌市）

(共催)

- ① 天使の詩実行委員会
横山マリアミルキーウェイウインターコンサート（令和6年3月24日 当館）

VI 啓発広報事業

- ① 事業案内、各展覧会ポスター・ちらし及び講演会・セミナーちらし等を制作・発行し、道内外の文学館、道内の博物館や図書館、札幌市内の地区センター、区民センター、カルチャーセンター、主要ホテル、観光案内所等に配布した。又、地下鉄各駅構内にポスターの掲示を行った。更に、展覧会の開催をPRするため、新聞等での有料広告を行った。
- ② 「北海道文学館報」第133号（7月12日付）、第134号（10月20日付）、第135号（12月25日付）、第136号（3月6日付）を発行した。

VII 刊行物の刊行事業

- ① 特別展「小津安二郎～世界が愛した映像詩人～」図録の刊行
- ② 特別展「『スーホの白い馬』の画家 赤羽末吉」リーフレットの刊行
- ③ 特別展「左川ちか 黒衣の明星」リーフレットの刊行
- ④ 特別展「100年の時を超える－＜明治・大正期刊行本＞探訪－」リーフレットの刊行
- ⑤ 「令和4年度年報」の刊行

VIII その他の付帯事業

- ① 博物館実習生の受入
令和5年9月13日～9月20日（6日間）、実習生4名
令和6年1月10日～1月17日（6日間）、実習生4名